

飲食データラベリング技術を用いた分析サービス 「外食データクラウド」提供スタート

外食データクラウド

飲食店向け予約／顧客台帳サービス「トレタ®」を開発・販売する株式会社トレタ（本社：東京都品川区、代表取締役：中村 仁）は、分析サービス「外食データクラウド」を本日2019年7月8日より提供スタートします。

外食データクラウドは、飲食店における予約行動や喫食行動のデータ分析を効率的に行うための分析ツールで、2019年4月に発表したAIによるデータラベリング技術を活用したものです。データラベリング技術により、POSデータや各種データを分析可能な状態にまでクレンジング（正規化）します。これにより、データの蓄積から、クレンジング、グラフ化までがワンストップで実現し、これまで飲食店で普及が進まなかったデータ活用が簡単になり、分析やマーケティング、経営改善に活かせるようになります。

一般的なBIツールとは異なり、トレタが保有する予約情報に基づく飲食店データや喫食データなどの外食に特化したグラフがプリセットで組み込まれているため、サービス利用開始からすぐに見たいデータを取り出すことができます。各グラフはグローバルフィルタによりフィルタリングでき、エリアごと、客単価ごと、曜日ごと、時間帯ごと、グループサイズごとなどさまざまな切り口でのデータ分析が可能で、データドリブンなメニュー開発や店頭マーケティングのアイデアが実現します。

さらに、エリアごとの飲食消費傾向や、業態ごとのドリンク消費傾向、価格帯ごとの売れ筋を直感的に見ることができるだけでなく、全国の飲食店データが利用できるため、今までできなかった他社との比較も容易になります。例えば、ドリンクやフードの価格帯ごとの売れ行きを簡単に参照し、自店舗の商品の適正価格の検討にも活かすことが可能です。

外食データクラウドでは、NTTドコモの匿名化統計データも搭載します。これにより、例えばアンケートから取得した飲料の嗜好等を居住エリアや職場エリアごとに分析するなど、外食産業における購買データと消費者属性データを組み合わせた可視化が可能になります。

■製品概要

製品名：外食データクラウド

仕様：

- 【スタンダードプラン】 匿名統計処理された喫食データ
および消費者属性データを可視化したBIツール
- 【ライトプランA】 匿名統計処理された喫食データを可視化したBIツール
- 【ライトプランB】 匿名統計処理された消費者属性データを可視化したBIツール
- 【AIラベリングサービス】 AIを活用した喫食情報のカテゴリ情報自動振り付けサービス

スタンダードプランに含まれるもの：

- 【データ】 喫食データ（POSデータのうちドリンクとフード情報）、店舗属性データ（エリア、最寄駅、ジャンル、推定客単価、好調状態データ）、消費者属性データ（デモグラフィック情報他）
- 【分析軸】 店舗軸（エリア、ジャンル、推定客単価、組人数他）、喫食軸（メニューカテゴリ大中小、単価、オーダー時間帯、オーダー日時他）等

料金：20万円～（データ量や種類、アカウント数により応相談）

■株式会社トレタ 会社概要

代表者 代表取締役 中村 仁
所在地 東京都品川区西五反田7-22-17 TOCビル 8F
資本金 15億9996万7千円（累計調達額61.3億円）
設立年月 2013年7月
主な事業内容 飲食店向け 予約/顧客台帳サービスの開発・販売
URL <https://corp.toreta.in/>

※「トレタ」は株式会社トレタの登録商標です。

本件に関するお問合せ先

株式会社トレタ
広報・PR担当
E-mail：pr@toreta.in
Tel：03-6431-9006